



Cisco DCNM のアップグレード

この章では、Cisco DCNM のアップグレードについて説明します。次の項を含みます。

- [Cisco DCNM のアップグレード, on page 1](#)
- [リリース 11.4\(1\) へのアップグレード前の Performance Manager のデータ管理 \(2 ページ\)](#)
- [インラインアップグレードを使用して ISO または OVA をアップグレードする \(5 ページ\)](#)

Cisco DCNM のアップグレード

Cisco DCNM リリース 11.0(1) より前に、DCNM OVA、および ISO は SAN 機能をサポートしていません。Cisco DCNM リリース 11.3(1) 以降では、OVA と ISO 仮想アプライアンスの両方に SAN 展開用の Cisco DCNM をインストールできます。

次の表は、リリース 11.4(1) にアップグレードするために従う必要があるアップグレードのタイプをまとめたものです。

Table 1: 従来の LAN、LAN ファブリック、および IP for Media (IPFM) 展開のアップグレードのタイプ

現在のリリース番号	リリース 11.4(1) にアップグレードするアップグレードタイプ
11.3(1)	インラインアップグレード
11.2(1)	インラインアップグレード
11.1 (1)	インラインアップグレード
11.0(1)	11.0(1) → 11.2(1) → 11.4(1) 11.0(1) → 11.1(1) → 11.4(1) →はインラインアップグレードを表します。

リリース 11.4(1) へのアップグレード前の Performance Manager のデータ管理

Cisco DCNM をリリース 11.4(1) にアップグレードすると、Cisco DCNM のアップグレード時に必要なすべてのソフトウェア コンポーネントがアップグレードされます。ただし、以前のリリースの Elasticsearch バージョンはリリース 11.4(1) の Elasticsearch バージョンと互換性がないため、追加のアクションを実行しないとアップグレードは成功しません。

古い Performance Manager (PM) データを廃棄し、DCNM リリース 11.4(1) へのアップグレードを続行できます。Performance Manager データをドロップする方法については、「*Dropping Performance Manager Data*」を参照してください。リリース 11.4(1) へのアップグレード中に古い PM データを保持することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Cisco DCNM SAN OVA/ISO 展開 での Performance Manager のデータのドロップ

この項では、DCNM リリース 11.3(1) 以前から DCNM 11.4(1) にアップグレードするための前提条件として、Performance Manager データをドロップする方法について説明します。



Note リリース 11.4(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Performance Manager (PM) データをドロップするには、次の手順を実行します。

Before you begin

- DCNM アプライアンスが動作していることを確認します。(スタンドアロンのアップグレード向け)
- フェデレーションを設定している場合は、DCNM フェデレーション設定のすべてのノードが動作していることを確認します。(フェデレーションセットアップ向け)

Procedure

ステップ 1 SSH セッションを起動し、次のコマンドを実行して PMDB インデックスを表示します。

Performance Manager データベースの PMDB インデックスを特定します。

次に例を示します。

```
dcnm-root-11-3# curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

```

% Total      % Received % Xferd  Average Speed   Time    Time       Time  Current
   Dload  Upload   Total     Spent    Left     Speed
100 2448 100 2448    0     0  4523      0  ---:--:--  ---:--:--  ---:--:--  4524
green open pmdb_cpumemdata          rb-CJf-NR0my8M3mO-7QkA 5 1  7286    0
1.4mb 760.2kb
green open pmdb_ethintfratedata      P18gMKdPTkCODv0TomYAdw 5 1  9283    0
2.4mb 1.2mb

```

「pmdb_」というプレフィックスが付いたインデックスが表示されます。

ステップ 2 Cisco DCNM Web UI で、[管理 (Administration)] > [パフォーマンスの設定 (Performance Setup)] > [LAN コレクション (LAN Collection)] を選択します。

すべてのスイッチとコレクションを無効にするには、すべてのチェックボックスをオフにし、[適用 (Apply)] をクリックします。

Administration / Performance Setup / LAN Collections

For all selected licensed LAN Switches collect: Trunks Access Errors & Discards Temperature Sensor

Performance Default Polling Interval: 5 Mins

- Fab-1-externalfab
 - 9k_aragon
 - C93108TC-FX_116
 - C93108TC-FX_41
 - n3k_72
 - N77-TGEN-195
 - N9k_27
 - N9K-C9232C_28
 - N9K-C9364C_49
 - N9K-C9504_44
 - sugarbowl_56
 - suharbowl_57
- Fab-2-ClassicLAN
 - N3k_Utopia_70
 - switch
- Fab3-otherswitches
 - IND13-P1-A1
 - N6K-96Q-63
 - test
 - Default_LAN

ステップ 3 [管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバステータス (Server Status)] を選択します。

ステップ 4 Performance Collector サービスに対して、[アクション (Actions)] 列の停止アイコンをクリックして、データ収集を停止します。

DCNM Server	Actions	Service Name	Status
localhost		Database Server	Running
10.106.228.37	Re-init Elasticsearch DB Schema	dexer	Last updated: 2020-12-13 16:30:00
10.106.228.37	Stop Service	Performance Collector	Stopped
10.106.228.37	Clean up PM DB stale entry(s)	Agent	Running
10.106.228.37		Elasticsearch	Status:yellow, Docs: pmdb_*=0
0.0.0.0:123		NTPD Server	Running
0.0.0.0:67		DHCP Server	Running
0.0.0.0:2162		SNMP Traps	Running
0.0.0.0:514		Syslog Server	Running

ステップ 5 削除アイコンをクリックして、Performance Manager データベースを消去します。

このアクションにより、Performance Manager データベース内の古いエントリが削除されます。

ステップ 6 [再初期化 (reinitialize)] アイコンをクリックして、Elasticsearch データベーススキーマのインデックスを再作成します。

この操作は、Elasticsearch データベースの Performance Manager データを消去し、Performance Manager を再起動します。完了するまで数分かかる場合があります。

ステップ 7 [Continue] をクリックします。

Performance Collector サービスのステータスが [停止 (Stopped)] と表示されます。

ステップ 8 次のコマンドを使用して、すべての PMDB エントリを削除したことを確認します。

- リリース 11.1(1) からのアップグレード用

```
curl https://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

- リリース 11.2 (1) からのアップグレード

```
curl https://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

- リリース 11.3 (1) からのアップグレード用

```
curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

次に例を示します。

```
dcnm-root-11-3# curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb

% Total    % Received % Xferd  Average   Speed  Time    Time     Time  Current
           %         0      0     3638    0  --:--:--  --:--:--  --:--:--  3636
```

ステップ 9 DCNM のリリース 11.4 (1) へのアップグレードに進みます。

インラインアップグレードを使用して ISO または OVA をアップグレードする

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

Cisco DCNM をインストールするとき、デフォルトで自己署名付き証明書がインストールされています。ただし、最新の Cisco DCNM リリースにアップグレードした後は、証明書を復元する必要があります。



- (注) 証明書の復元は、破壊的なメカニズムです。アプリケーションを停止して再起動する必要があります。アップグレードされたシステムが安定している場合にのみ、証明書を復元します。つまり、Cisco DCNM Web UI にログインする必要があります。

アップグレード後に証明書を復元するには、[アップグレード後に証明書を復元する](#) を参照してください。

ここでは、インラインアップグレード方式を使用して DCNM をアップグレードする手順について説明します。



- (注) クラシック LAN 展開のアップグレードでは、DCNM リリース 11.4(1) にアップグレードすると、展開は自動的に LAN ファブリック展開モードに変換されます。

スタンドアロンモードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

スタンドアロンモードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。

Before you begin

Cisco DCNM セットアップがクラスタモードの場合は、必ず Network Insights - Resources (NIR) 2.x アプリケーションを停止してください。Cisco DCNM Web UI で、[\[アプリケーション \(Applications\)\]](#) > [\[カタログ \(Catalog\)\]](#) を選択します。NIR アプリで、[\[停止 \(Stop\)\]](#) アイコンを

クリックしてアプリケーションを停止します。カタログからアプリケーションを削除するには、**[削除 (Delete)]** をクリックします。

Procedure

ステップ 1 Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEMRESOURCEERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合：ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして **[設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)]** を選択します。
- ISO のインストールの場合：KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

Caution SSH セッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

ステップ 2 **appmgr backup** コマンドを使用してアプリケーションデータのバックアップを取得します。

```
dcnm# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

ステップ 3 **su** コマンドを使用して、/root/ ディレクトリにログオンします。

```
dcnm# su
Enter password: <<enter-password>>
```

Note ISO をディレクトリにマウントする前に、/root/ フォルダにアクセスできることを確認します。

ステップ 4 dcnm-va.11.4.1.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM 11.4(1) ISO ファイルをアップグレードする DCNM セットアップ内の /root/ フォルダにアップロードします。

ステップ 5 **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm# mkdir /mnt/iso
```

ステップ 6 /mnt/iso フォルダのスタンドアロンセットアップに DCNM 11.4(1) ISO ファイルをマウントします。

```
mount -o loop <DCNM 11.4(1) image> /mnt/iso
```

```
dcnm# mount -o loop dcnm-va.11.4.1.iso /mnt/iso
```

ステップ 7 /mnt/iso/packaged-files/scripts/ に移動して **.inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
dcnm# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/  
dcnm# ./inline-upgrade.sh  
Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.4(1)? [y/n]: y
```

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい **sysadmin** パスワードを入力するように求められます。

ステップ 8 プロンプトで新しい **sysadmin** ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい **sysadmin** パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>  
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。 **sysadmin** ユーザーを使用します。

ステップ 9 **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
dcnm# appmgr status all
```

ステップ 10 Cisco DCNM リリース 11.4(1) が正常にインストールされていることを確認するには、**appmgr show version** コマンドを使用します。

```
dcnm# appmgr show version  
  
Cisco Data Center Network Manager  
Version: 11.4(1)  
Install mode: LAN Fabric  
Standalone node. HA not enabled.
```

What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。



Note リリース 11.3(1) では、**sysadmin** と **root** ユーザーのパスワードは同一ではありません。11.4(1) にアップグレードすると、**sysadmin** および **root** ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後に Cisco DCNM でバックアップと復元を実行すると、**sysadmin** ユーザーは **root** ユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

[設定 (Settings)] アイコンをクリックし、[DCNM の詳細 (About DCNM)] を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

appmgr es-reindex pmdb コマンドを使用してパフォーマンスマネージャデータを移行します。

Cisco DCNM リリース 11.4(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.2(1) またはリリース 11.3(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.4\(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

ネイティブ HA モードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

ネイティブ HA モードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.1(1)、Cisco DCNM 11.2(1) の両方または Cisco DCNM 11.3(1) Active と Standby ピアが起動して実行中であることを確認します。
- クラスタ モードで Cisco DCNM をアップグレードする前に、Network Insights - Resources (NIR) 2.x アプリケーションを停止します。Cisco DCNM Web UI で、[**アプリケーション (Applications)**] > [**カタログ (Catalog)**] を選択します。NIR アプリで、[**停止 (Stop)**] アイコンをクリックしてアプリケーションを停止します。カタログからアプリケーションを削除するには、[**削除 (Delete)**] をクリックします。



Note クラスタ モードでの Cisco DCNM のインラインアップグレードは、リリース 11.2(1) 以降でサポートされています。リリース 11.1(1) では、クラスタ モードの DCNM のインラインアップグレードはサポートされていません。

- **appmgr show ha-role** コマンドを使用して、アクティブ サーバとスタンバイ サーバが動作していることを確認します。

例:

アクティブ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

スタンバイ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```


Procedure

ステップ 1 dcnm-va.11.4.1.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM 11.4(1) ISO ファイルを /root/ フォルダに、アップグレードする DCNM セットアップの Active と Standby ノードの両方でアップロードします。

Note 例えば、アクティブおよびスタンバイ アプライアンスを **dcnm1** および **dcnm2** に個別に示します。

ステップ 2 Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合：ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして [設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)] を選択します。
- ISO のインストールの場合：KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

Caution SSH セッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーン セッションを作成します。

```
dcnm1# screen
dcnm2# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

ステップ 3 アクティブおよびスタンバイの両方のアプライアンスで **appmgr backup** コマンドを使用して、アプリケーションデータのバックアップを取得します。

```
dcnm1# appmgr backup
dcnm2# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

ステップ 4 アクティブノードで、インラインアップグレードを実行します。

a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm1# mkdir /mnt/iso
```

b) DCNM 11.4(1) ISO ファイルを /mnt/iso フォルダで Active ノードにマウントします。

```
dcnm1# mount -o loop dcnm-va.11.4.1.iso /mnt/iso
```

c) **/mnt/iso/packaged-files/scripts/** に移動し、**./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
dcnm1# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm1# ./inline-upgrade.sh
```

Note 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスが停止することを示すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**y** を押して続行します。

```
dcnm1# Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.4(1)? [y/n]: y
```

- d) プロンプトで新しい **sysadmin** ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい **sysadmin** パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
```

```
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。**sysadmin** ユーザーを使用します。

- e) **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
dcnm1# appmgr status all
```

Note スタンバイ ノードのアップグレードに進む前に、すべてのサービスが Cisco DCNM アクティブ ノードで稼働していることを確認します。

- f) **appmgr show ha-role** コマンドを使用して、アクティブ ノードのロールを確認します。現在のロールはアクティブとして表示される必要があります。

```
dcnm1# appmgr show ha-role
```

```
Native HA enabled.
```

```
Deployed role: Active
```

```
Current role: Active
```

Warning アクティブ ノードの現在のロールがアクティブでない限り、スタンバイ ノードのアップグレードを続行しないことをお勧めします。

ステップ 5 スタンバイ ノードで、インラインアップグレードを実行します。

- a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm2# mkdir /mnt/iso
```

- b) DCNM 11.4(1) ISO ファイルを /mnt/iso フォルダーで Standby ノードでマウントします。

```
dcnm2# mount -o loop dcnm-va.11.4.1.iso /mnt/iso
```

- c) /mnt/iso/packaged-files/scripts/ に移動し、**./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
dcnm2# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
```

```
dcnm2# ./inline-upgrade.sh --standby
```

Note 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスが停止することを示すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**[y]** を押して続行します。

```
dcnm2# Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.4(1)? [y/n]: y
```

- d) プロンプトで新しい **sysadmin** ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい `sysadmin` パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。`sysadmin` ユーザーを使用します。

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。次のコマンドを使用して、アプライアンスのロールを確認します。

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。



Note

リリース 11.3(1) では、`sysadmin` と `root` ユーザーのパスワードは同一ではありません。11.4(1) にアップグレードすると、`sysadmin` および `root` ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後に Cisco DCNM でバックアップと復元を実行すると、`sysadmin` ユーザーは `root` ユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

[設定 (Settings)] アイコンをクリックし、[DCNM の詳細 (About DCNM)] を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

を使用して、両方のアプライアンスのロールを確認します。 `appmgr show ha-role`

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active

dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

`appmgr status all` コマンドを使用して、すべてのアプリケーションのステータスを確認します。

Cisco DCNM リリース 11.4(1) へのアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチで構成される Cisco DCNM リリース 11.1(1)、リリース 11.2(1)、またはリリース 11.3(1) で管理される VXLAN BGP EVPN ファブリックを適切にオンボードする方法については、「[DCNM 11.4\(1\) 以降の VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックのアップグレード](#)」を参照してください。

DCNM コンピューティングノードのインラインアップグレード

DCNM コンピューティングノードをリリース 11.2(1) またはリリース 11.3(1) からリリース 11.4(1)へインラインアップグレードを使用してアップグレードできます。インラインアップグレードでは、新しい DCNM バージョンを既存のコンピューティングノードに強制することによって、コンピューティングノードをアップグレードできます。



Note Cisco DCNM リリース 11.3(1) の Cisco アプリケーションサービスのコンピューティングノードをリリース 11.4(1)へインラインアップグレード手順を使用してアップグレードできます。詳細については、『[Cisco DCNM 用の Cisco Application Services Engine インストールガイド](#)』を参照してください。

スタンドアロンとネイティブの両方の HA モードで DCNM コンピューティングノードをアップグレードするには、次の作業を実行します。

Before you begin

DCNM コンピューティングノードをアップグレードする前に、スタンドアロンノードまたはネイティブ HA モードのいずれかの Cisco DCNM サーバをリリース 11.4(1) にアップグレードする必要があります。

Procedure

ステップ 1 Cisco DCNM コンピューティング コンソールにログオンします。

Caution SSH セッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEMRESOURCEERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

または

次のコマンドを実行して、コンピューティングノードにスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm-compute# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されない場合や切断された場合でも実行され続けます。

ステップ 2 dcnm-va.11.4.1.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM 11.4(1) ISO ファイルをすべてのコンピューティングノードの /root/ フォルダにアップロードします。

ステップ 3 すべてのコンピューティングで **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm-compute# mkdir /mnt/iso
```

ステップ 4 DCNM 11.4(1) ISO ファイルを /mnt/iso フォルダのコンピューティング ノードでフォルダにマウントします。

```
mount -o loop <DCNM 11.4(1) image> /mnt/iso
```

```
dcnm-compute# mount -o loop dcnm-va.11.4.1.iso /mnt/iso
```

すべてのコンピューティング ノードに ISO をマウントします。

ステップ 5 /mnt/iso/packaged-files/scripts/ に移動して ./inline-upgrade.sh スクリプトを実行します。

```
dcnm# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
```

```
dcnm# ./inline-upgrade.sh
```

```
Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.4(1)? [y/n]: y
```

Note 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスを停止するように促すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**y** を押して続行します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい sysadmin パスワードを入力するように求められます。

ステップ 6 プロンプトで新しい sysadmin ユーザー パスワードを入力します。

```
Enter the password for the new sysadmin user:<<sysadmin_password>>
```

```
Enter it again for verification:<<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、コンピューティング ノードが再起動します。再起動後、SSH \root アクセスはデフォルトで無効になっています。sysadmin ユーザーを使用します。

ステップ 7 appmgr show version コマンドを使用して、Cisco DCNM リリース 11.4(1) へのアップグレードが正常に行われたことを確認します。

```
dcnm-compute# appmgr show version
```

```
Cisco Data Center Network Manager
```

```
Version: 11.4(1)
```

```
Install mode: Compute
```

What to do next

クラスタ内の3つのコンピューティングノードすべてをアップグレードする必要があります。アップグレードプロセスが完了すると、各コンピューティング ノードが再起動し、自動的にクラスタに参加します。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択して、コンピューティングノードが[結合済み (Joined)] として表示されるかどうかを確認します。

Cisco DCNM リリース 11.4(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.2(1) またはリリース 11.3(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.4\(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

